

## はじめに

本書を手にとっていただき、誠にありがとうございます。

テーマは特別支援教育の「図画工作」です。図画工作をより身近に感じ、のびのびと楽しむことができるようにと、願いを込めて執筆しました。

本書で一番伝えたいことは「同じ題材であっても、表現方法は個別でよい」ということです。子どもたちが自分に合った表現・自分でできる技法で取り組むことができる実践を紹介します。

図画工作は、授業中の活動だけではなく、作品が完成したあとも鑑賞をして楽しむことができます。

しかし、先生方や子どもたちに「図画工作は好きですか？」と質問すると、多くの方から「絵は苦手だから……」「好きだけど、自信はないな……」という答えが返ってきます。

そこで本書では

- ・自分の想像力や作った作品を自分自身で認めてあげること
  - ・友達の作品を認め合える学級の雰囲気をつくること
  - ・作品のよさに注目できるような指導を継続すること
- などを丁寧に解説します。

まずは読者の皆さんに、「図画工作をやってみたい」「子どもたちの作品をたくさんほめることができた」と思っていただけたら幸せです。

本書が少しでも皆さんのお役に立てること、皆さんと目の前の子どもたちの笑顔につながることを願っています。

いるかどり



# もくじ

|            |   |
|------------|---|
| はじめに ..... | 3 |
|------------|---|

## 第1章 特別支援教育の 図画工作

|                                            |    |
|--------------------------------------------|----|
| 1 「特別支援教育の図画工作」<br>少人数のよさを生かした授業をしよう ..... | 10 |
| 2 「図画工作における人的環境」<br>教師の心得をチェックしよう .....    | 14 |
| 3 「図画工作における物的環境」<br>実態に合わせて用具を調整しよう .....  | 18 |
| 4 「図画工作における空間的環境」<br>教室や机のレイアウトをしよう .....  | 22 |
| コラム ① どんな学習形態があるの? .....                   | 26 |

## 第2章

### のびのびと表現できる！ 一人ひとりの目標に取り組める 図工アイデア

|                                                |    |
|------------------------------------------------|----|
| 1 「私の好きな空色！ グラデーション」<br>筆の使い方を楽しもう .....       | 28 |
| 2 「歯を大切に！ 歯の健康ポスター」<br>鏡で自分の歯を見てみよう .....      | 32 |
| 3 「私の好きな色！ カラフルな世界」<br>絵の具セットを使ってみよう .....     | 36 |
| 4 「私の友達！ カラフルモンスター」<br>はじき絵と独創的な世界観を楽しもう ..... | 40 |
| 5 「ゆらゆら浮かぶ！ クラゲ星人」<br>光を感じる製作をしよう .....        | 44 |
| 6 「チョッキン！ パー！ 切り紙」<br>折り紙を切って開いて模様を楽しもう .....  | 48 |
| 7 「ペリッ！ ステンシルシール版画」<br>指先でシールをはがして楽しもう .....   | 52 |

- 8 「模様を楽しむ! 野菜スタンプ」  
自分で選んだ野菜で洋服作り ..... 56
- 9 「人型の紙模型」  
自分の体をイメージしてみよう ..... 60
- コラム ② どうやって指導計画を立てるの? ..... 64

### 第3章

#### クラス全員が活躍できる! みんなで取り組む図工アイデア

- 1 「春を感じる! 成長を願う桜の木」  
ちぎり絵とスタンプで表現しよう ..... 66
- 2 「元気に泳げ! こいのぼり」  
偶然できる模様を楽しもう ..... 70
- 3 「夜空に輝く! 打ち上げ花火」  
トントンするだけスタンプング ..... 74
- 4 「すいすいあつまれ! カラフル魚」  
国語で学んだ海の世界を表現しよう ..... 78

- 5 「秋を感じる! 紅葉カーテン」  
ハサミで様々な切り方を試そう ..... 82
- 6 「自然を感じる! 落ち葉貼り」  
秋の素材でライオンキッズのお面作り ..... 86
- 7 「くるくるスチレンボード版画」  
3色の重なりを楽しもう ..... 90
- コラム ③ 活動内容や子どもの実態に合わせた  
学習環境 ..... 94

### 第4章

#### クラス全員の達成感・満足感が高まる! 鑑賞活動

- 1 「すてきなところを発見! 鑑賞活動」  
自分や友達のよさを見つけよう ..... 96
- 2 「ここに注目! 作品紹介カード」  
自分の作品のよさを伝えよう ..... 98
- 3 「思いを伝える! 作品鑑賞カード」  
見て感じたことを表そう ..... 100



**4** 「アピールできる！ 作品カード」  
作品の好きなところを表現しよう ..... 102

**5** 「言語化できる！ 作品発表カード」  
みんなの前で発表しよう ..... 104

**6** 「あなたもすてきだね！ いいねカード」  
お互いの作品を認め合おう ..... 106

**コラム 4** 共同製作と共同作品は何が違うの？ ..... 110

特典をダウンロードしよう！ ..... 112

特典ダウンロード一覧 ..... 113

おわりに ..... 114

参考資料 ..... 116

## 「特別支援教育の図画工作」 少人数のよさを生かした授業をしよう

学年も実態も様々な子どもたちがいる小集団だからこそできる表現活動があります。それぞれの強みを生かした授業を計画しましょう。

### 少人数だからできる図画工作を楽しもう

小学校の特別支援学級や特別支援学校の学級では、在籍する子どもたちが少人数であることで、一人ひとりの生活年齢、発達段階に合わせて柔軟に指導計画を考え、授業を展開することができます。

子どもたちの生活や経験、興味関心を題材に取り入れ、時には子どもたちと相談しながら図画工作を計画します。「満開の桜」「夜空の花火」など、子どもたちの心に響くテーマを設定しましょう。

### 表現活動でも鑑賞活動でも、みんなの強みを生かそう

一人ひとりの活動スペースを広く取れるのも特別支援学級だからこそです。絵の具、クレヨン、版画、立体作品など、教室の全体を有効に活用して、様々な表現技法を体験する機会を設定できます。

表現だけではなく、地域の美術館や展示会への遠足、近隣小学校との合同作品展の開催など、活躍と鑑賞の機会を設定しやすいのも特長です。

### 他の単元との関連を意識するだけで大きく変わる！

学習指導要領を参考にしながら指導計画を立て、「なんとなく例年通りに」で実施することのないようにアップデートの意識を大切にしましょう。また、「はい。今日はこれを作ります」という一方方向の指示で進めるのではなく、生活単元学習や学校生活と関連付けながら学習を進めることで、創造的な授業になります。

### 指導計画を立てるときの流れ

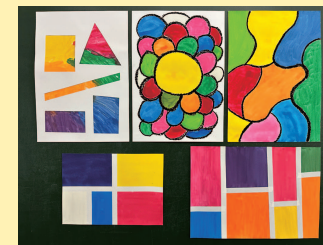
一人ひとりの実態把握 と 学級としての実態把握

指導目標

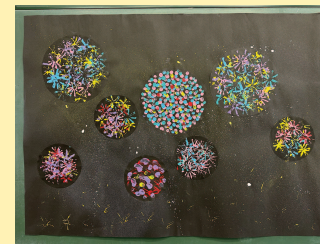
指導内容

学習形態・環境設定、個人目標・環境調整  
本時の目標・流れ・評価 など

個人製作 (第2章参照)



共同作品 (第3章参照)



共同製作 (第3章参照)



## 「元気に泳げ！ こいのぼり」 偶然できる模様を楽しもう

5月は、こいのぼりを製作してみましょう。個人の作品を集めて1つの作品にすることでダイナミックな表現が生まれます。

### 作品完成例



### こんな子どもたちへ！ 活動と技法

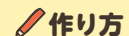
個人用は、手持ちこいのぼりのサイズや画用紙1枚のサイズで作ります。全体用は、模造紙や大きなビニール袋などのサイズで作ります。上の画像では、子どもたち一人ひとりの作品を大きなこいのぼりのウロコとして表現してみました。展示スペースがあれば、天井から吊るすと迫力満点です。

### ステップ 1

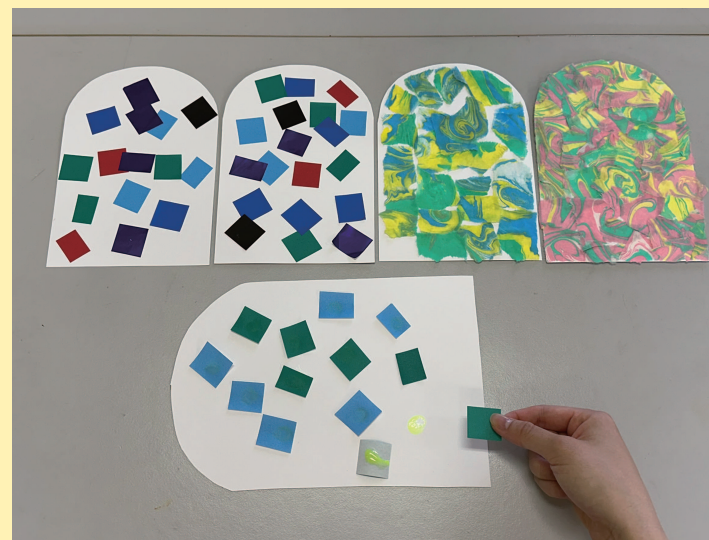
#### 折り紙や和紙でペタペタちぎり絵



材料  
・画用紙 ・折り紙 ・和紙(色や模様あり) ・のり



- 作り方
- ① A4 サイズなどの画用紙を用意する。上2箇所の角を丸く切る。
  - ② 折り紙や和紙をちぎり、こいのぼりのウロコを作る。
  - ③ ②にのりをつけて、①に貼りつける。



### 活動のポイント

図工の学習目標の他に、目と手の協応、空間を埋める、1枚ずつ貼る、などの自立活動の学習目標を設定しながら、取り組むことができる活動です。子どもたちの実態に応じて、画用紙の厚さや大きさを調整しましょう。他にも、デカルコマニー (P.72) やマーブリング (P.73) など、様々な技法を使える作品です。

## 「すいすいあつまれ！ カラフル魚」 国語で学んだ海の世界を表現しよう

国語で学習した物語文に出てきた海・魚を表現しました。全員が知っている題材を全員で製作して、学級への帰属感を高めます。

### 作品完成例



### こんな子どもたちへ！ 活動と技法

図画工作の授業を行いたいけれど、子どもたちの実態がバラバラで活動を進めることが難しいときや、様々な活動を取り入れてダイナミックな作品を作りたいときにおすすめです。

ぜひ、活動の前に全員で絵本を読むなどしてイメージをふくらませてから取り組みましょう。

### ステップ 1

#### そのままコロコロ！ ローラー版画

##### 材料

・模造紙 ・版画用絵の具 ・トレイ ・ローラー

##### 作り方

- ①トレイ全体に、まんべんなく版画用絵の具を出す。
- ②ローラーに絵の具をつける。
- ③作品の土台となる大きな模造紙に、コロコロとローラーをかける。



### 活動のポイント

ローラーを使って、模造紙に直接色をつけ、海の中の世界を表現します。ローラーについている絵の具の量や、子どもたちの手の力加減で模様が変わる楽しい活動です。

基本的には、子どもたちが自由にローラーを転がして楽しみ、教師は必要に応じて手を添えるなどの支援をします。

## 「言語化できる！ 作品発表カード」 みんなの前で発表しよう

何を伝えたいのかを言語化することで、友達や保護者の前で発表することができます。とくに色や形に注目できるようにしましょう。

さくひん はっぴょう  
作品発表カード

月 日

4 年 あさがお 組 3 ばん 番号 わたなべたいが

①これから \* げんきなは の  
しょうかい  
紹介をします。

②一番見てほしいところは、  
いちばん み  
ほんものみtainはのかたち  
です。

③色の工夫では、  
いろ くふう  
白いえのぐできれいにぬりました。

④形の工夫では、  
かたち くふう  
かがみをみながらほんものみtainにか  
きました。

⑤これで \* げんきなは の  
しょうかい  
紹介をおわります。

⑥ありがとうございました。

### 活動のポイント

作品発表カードは、表現活動や鑑賞活動を通して感じたことや考えたことを、授業参観などで発表する機会を活用します。穴埋めで記入し、完成すると、そのまま台本として活用することができます。

## さくひん はっぴょう 作品発表カード

月 日

ねん 年 組 ばん 番号 なまえ 名前

- ①これから \* げんきなは の  
しょうかい  
紹介をします。
- ②一番見てほしいところは、  
いちばん み  
ほんものみtainはのかたち  
です。
- ③色の工夫では、  
いろ くふう
- ④形の工夫では、  
かたち くふう
- ⑤これで \* げんきなは の  
しょうかい  
紹介をおわります。
- ⑥ありがとうございました。